

# 授業科目 成人慢性期看護学演習

【担当教員名】		対象学年	2	対象学科	看護
目黒 優子、近藤 浩子、手島 美子、 安齋 典子、大武 久美子		開講時期	後期	必修選択	必修
		単位数	1	時間数	30
【ディプロマポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎	◎	○	○	○	
【概要・一般目標：GIO】					
慢性の病いとともに生きる成人期にある対象者が、病気と家庭生活、社会生活の折り合いをつけながら生活できるためのセルフマネジメント支援について理解する。					
【学習目標・行動目標：SBO】					
1. 慢性疾患と慢性の病いについて説明できる。 2. セルフマネジメント支援のために必要な構成要素およびそれらを支える理論について説明できる。 3. 慢性の病いとともに生きる成人期にある対象者へのセルフマネジメント支援の実践について演習を通して習得する。 4. 慢性の病いとともに生きる対象者およびその家族に対する看護者としての態度を養う。					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1. 2	慢性性、自己効力理論、病みの軌跡理論			1. 2	講義、担当：目黒 優子
3. 4	TBL を用いた事例展開 1 ～2型糖尿病患者の事例～ 1) TBL の進め方、2) フェーズ1 (個人学習)：糖尿病			3	講義・演習、担当：目黒 優子
5. 6	3) フェーズ2 (準備確認)：糖尿病【多肢選択式の個人準備テスト (IRAT)、多肢選択式のグループ準備テスト (GRAT)】、4) フェーズ3 (学習のテーマの応用)：グループワーク、5) 講義 (糖尿病患者の看護)			3	講義・演習、担当：目黒 優子
7. 8	発表、まとめ			3. 4	講義・演習、担当：目黒 優子
9	自己血糖測定、インシュリン自己注射			3	講義・演習、担当：目黒 優子 他
10. 11	TBL を用いた事例展開 2～心筋梗塞患者の事例～ 1) フェーズ1 (個人学習)：心筋梗塞、2) フェーズ2 (準備確認)：心筋梗塞【多肢選択式の個人準備テスト (IRAT)、肢選択式のグループ準備テスト (GRAT)】			3. 4	講義・演習、担当：目黒 優子
12. 13	3) フェーズ3 (学習のテーマの応用)：グループワーク、4) 講義 (糖尿病患者の看護)			3	講義・演習、担当：目黒 優子
14. 15	発表			3. 4	講義・演習、担当：目黒 優子
16	まとめ				担当：目黒 優子
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)					
参考書		成人看護学 慢性期看護論 第2版	鈴木志津枝、藤田佐和	ヌーヴェルヒロカワ	2009・2,400円＋税
		慢性疾患を生きる ケアとクオリティ・ライフの接点	南裕子 監訳	医学書院	2001・3,600円＋税
		慢性疾患の病みの軌跡 とストラウスによる看護モデル	コービン 編集、黒江 ゆり子 訳	医学書院	1995・2,700円＋税
		クロニックイイルネス 人と病いの新たななかかわり	アイリーン・モロフ・ラブ キン、パメラ D. ラーセン	医学書院	2007・6,800円＋税
その他の資料					
【評価方法】			【履修上の留意点】		
グループ発表：50%程度、レポート：30%程度、定期試験：20%程度			事例展開ができるよう以上に上記に挙げている疾患の病態生理について自己学習をして臨んでください。		